

目標達成計画

作成日: 平成 26 年 3 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	運営推進会議や認知症サポーター講座、メディカルフェスティバルなど、定着して行っているが小さな子供と関わるような地域活動が行えていない。	隣の児童館と交流が持てるように働きかける。去年皇子山中学校で行った認知症サポーター講座を継続できるように努める。	児童館に関しては、密な関わりを求めるのではなく、登下校時にご利用者と散歩に出かけ顔なじみになるなど、小さなことから関わりを求める。サポーター講座については、職場体験などを通じて開催を働きかける。	12ヶ月
2	49	ご利用者との外出について評価して頂いたことを受けて、今後も継続して行くと共に、ご利用者にとって質の高い外出が行えるように工夫していく。	ご利用者のADLが年々落ちていく中で、変わらず外出の機会を提供できるように努め、満足度の向上につながるようにする。	来年度も個別外出を行事計画に盛り込む。散歩については、夏・冬に減る傾向にあるが、認知症のあるご利用者にとって季節を感じて頂ける機会と前向きに捉え、リスクを回避しながらも外出機会が減少しないようにする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。